

2025年4月28日
東京ガス株式会社

2024年度（2025年3月期）第4四半期決算説明会

Q&A

Q 1 : 25 年度業績予想には一過性要因が多く含まれる中で、今後持続的に ROE8%を達成し、さらに 2030 年頃に ROE10%を達成していくための具体的な施策はあるか。

A 1 : 海外や電力中心に利益を伸長させていく。例えば海外については、シェブロン資産の取得により、26 年度以降にさらなる利益貢献を見込んでいる。電力については、マーケット環境が落ち着いてきたこともあり、リスクマネジメントを図りながらさらなる利益向上を目指す。

Q 2 : 次期中計において、フリーキャッシュフローについてはどう考えるか。

A 2 : 23-25 中計期間においても意識的に黒字化を目指しており、次期中計以降についても短期的な変動はあるかもしれないが、ある程度の期間においては黒字化すべきものであると考えている。

Q 3 : 25 年度経常利益見通しについて、エネルギー・ソリューションセグメントにおいて、ガス・電力合わせて約 150 億円の増益がある中で、セグメント利益は 9 億円の増益に留まっている背景を教えてください。合わせて都市ビジネスセグメントの減益の理由も教えてください。

A 3 : エネルギー・ソリューションセグメントについては、IT 関連等の費用増やエンジニアリング事業の一過性利益剥落の影響である。都市ビジネスについては、不動産販売益として計上される売上利益の減少・新宿パークタワーの改修費用がピークを迎えること等による影響である。

以上